

質疑回答書

平成29年11月2日

契約番号 4291000191

件名 平成29年度 枅川下橋撤去工事

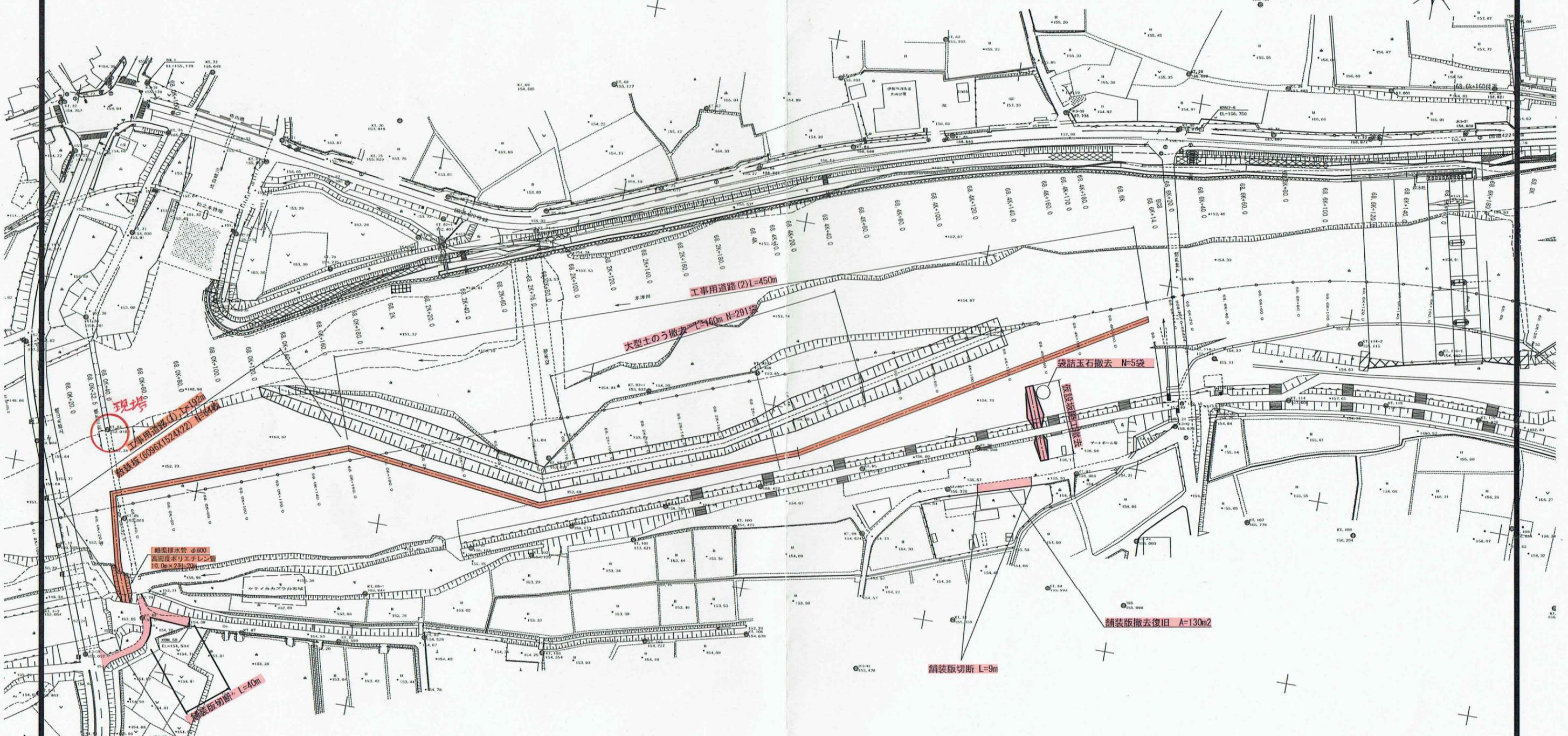
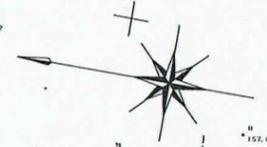
質 疑	回 答
1 仕様書において、仮設工の仮設盛土（流用土）が530m ³ となっておりますが、どの土砂を流用するのか明示願います。	1 三重県伊賀建設事務所事業推進室（流域課）発注の河川浚渫残土を流用します。
2 仮設盛土（盛土時）の積込（ルーズ）は計上されておりますが、運搬、敷均し及び締固めが計上されておられません。発注者の考えを明示願います。	2 仮設盛土材の運搬については、施工時に変更協議より設計変更します。敷均し及び締固めについてはバックホウバケットによる転圧程度を考えています。
3 仮設盛土の土質条件を明示願います。	3 土砂です。
4 仮設盛土撤去時にダンプトラックに直接積み込む設計となっておりますが、図面では大型ダンプトラックが通行できるようになっておりません。発注者の施工方法を明示願います。	4 必要があれば施工時に変更協議を行い設計変更します。
5 大型土嚢製作時の流用土はどの流用土を使用するか明示願います。	5 河川浚渫残土です。

<p>6 根固めブロックの撤去据付はラフ テレーンクレーンでの施工と思われ ます。敷鉄板にて工事用道路の計上 がありませんが、施工をどのように 考えているか明示願います。</p> <p>7 根固めブロックを撤去、据付とな っておりますが、横取り（仮置き） の計上がありません。また 20 個運搬 し、荷卸しまでの計上はありますが、 横取り（仮置き）及び据付が計上さ れておりません。どこまでの施工か 明示願います。</p> <p>8 残土処分であります。伊賀管内 の市場では処分が有料となっております。 発注者としては有料でしか処 分ができない場合はどのように考え ているか明示願います。</p> <p>9 特記仕様書において、適用条件の 中に『設計変更を行う際に変更対 象・・・三重県設計変更ガイドライ ン（案）（平成 27 年 4 月 1 日）を参 考とする。』となっておりますが平成 29 年が最新であります。採用年度の 確認を御願います。</p>	<p>6 三重県伊賀建設事務所事業推進室 （流域課）発注の河川浚渫工事の仮設 道路を併用します。 ※別添図面参照</p> <p>7 根固めブロックを撤去の中に仮置 きも計上しています。 根固めブロック 20 個については、 積込・運搬・荷卸までの施工を行いま す。</p> <p>8 残土有料処分については、伊賀市と して考えておりません。</p> <p>9 三重県設計変更ガイドライン（案） については平成 29 年度版を参考とし てください。</p>
---	---

※この回答に対する質問は受付できません。

仮設平面図

S=1:1,000



現場
工事用道路(1) L=192m
敷設板(6096X1524X22) N=64枚

箱型排水管 φ800
高密度ポリエチレン管
10.0m×2本×2本

舗装版切断 L=40m

舗装版撤去復旧 A=320m²

工事用道路(2) L=450m

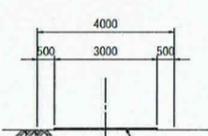
大型土のう撤去 L=160m N=291袋

袋詰玉石撤去 N=5袋

舗装版撤去復旧 A=130m²

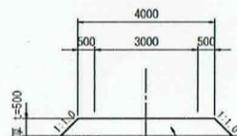
舗装版切断 L=9m

工事用道路(1)
S=1:100



敷設板(6096X1524X22)

工事用道路(2)
S=1:100



工事用道路盛土
平均断面 A=2.25m²
(河床材料適用盛土)

本津川(河川改修)

工事名	一級河川本津川他4川河川改修(河床掘削)工事		
図面名	仮設工・橋造物撤去平面図		
作成年月日	平成 年 月 日		
縮尺	S=1:1000	図面番号	9
会社名			
事業者名	三重県伊賀建設事務所		